

第2期朝霞市自殺対策計画（案）概要版

1. 趣旨

「誰も自殺に追い込まれることのない社会の実現」に向けて、子ども・若者の自殺対策の更なる推進や、女性に対する支援の強化、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を踏まえた対策の推進のほか、総合的な対策を打ち出しました。過去の取組の成果や課題を踏まえながら、更なる自殺対策を推進するため、第2期朝霞市自殺対策計画を策定しました。

2. 目的

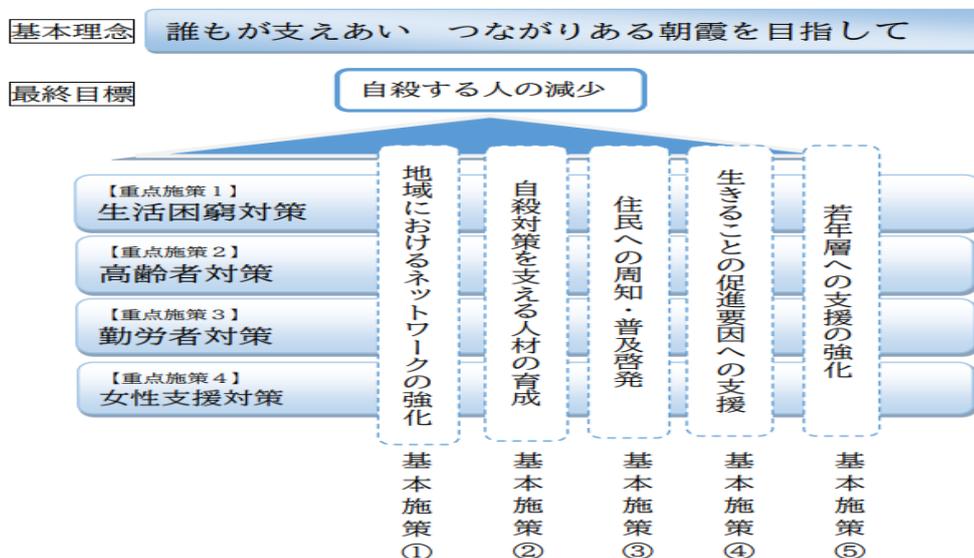
「朝霞市自殺対策計画」が令和6年度で終了することから、本市の自殺対策を推進するため、令和7年度から令和11年度までの「第2期朝霞市自殺対策計画」を策定します。

3. 背景

朝霞市の自殺者数は、令和5年は22人で、過去5年間では、15人から26人で推移し、平均自殺者数は、20.6人。新型コロナウイルス感染症拡大により徐々に増え、自殺者数は増減を繰り返しています。

年代別では、男性では50代が多く、次に20代、40代、女性では50代、次に30代、40代が多い状況。性別では、近年、男性と女性の比率が同率となっており、女性の自殺者数の増加がみられています。

4. 概要



5. 計画の達成目標

令和6年現状値 (令和5年評価値)	令和8年目標値	令和11年目標値
11.3	10.4	減少

6. 推進体制・計画の進行管理

庁内連絡会議等により、連携を強化し、事業の推進に努めるとともに、PDCAサイクルを通じて、自殺対策の施策や取組の効果を検証し、継続的に自殺対策を展開します。